

2010年 3月10日 東大合格発表レポート (南賢司講師)

[8:00]

ついに東大の合格発表の日が来ました。合格発表のときに東大を訪れ始めてから3年目です。1年目の時には教え子が合格して、テレビ局のインタビューを受けている後ろで微笑んでいたら、その風景が「ミヤネ屋」に映ってしまって、意図せずブラウン管デビューを果たしたことを思い出します。私が有名になったら、お宝映像としてぜひ使ってもらうことにしましょう。そんなことを思いながらの午前8時の新大阪の駅です。前日に松下先生と約束をしていた時間です。松下先生からメールが入り、すでに自由席のある3号車前に来ているということ。私はダッシュでその場所へ向かい、無事「のぞみ号」に乗り込み、いざ出発です！(松下先生には毎年車内販売のサンドイッチとコーヒーを食べさせてもらっています。この場を借りてお礼申し上げます。そして来年もよろしくお願ひします)

[11:15]

曇り空の中われらの「のぞみ号」は東京駅へ到着し、11:15には東大本郷キャンパスの最寄り駅である本郷三丁目に到着。ちなみに東京駅で丸の内線に乗り換えるときに、試しにICOCAを改札機にかざしてみました。しかし結果は、「馬鹿なまねはおよしなさい！」と言わんばかりにかざした部分が真っ赤に点滅し、改札機通過を阻まれました。よい子はまねをしないようにしてくださいね。



駅のすぐ前にナチュラルローソンがあります



安田講堂の遠景

そしてついに東大本郷キャンパス内に足を進めます。まず、赤門前で東大新聞を購入し、12:30 の発表までまだ時間があるので、生協に向かいます(ここでちょっと話を脱線して、合格発表の時間のことに触れますね。大学サイドの発表時間は 13:00 になっていると思いますが、実際は 12:30 ぐらいから発表を見ることができるようになっています)。生協で各校舎へのお土産や東大グッズをひとしきり買い求めます。その後まだ時間があつたので、学食で昼ご飯を食べることにしました。本郷の学食は1階と2階が吹き抜けになっていて何かいい雰囲気です。周りの学生もみんな聡明そうです。隣の学生はヨーロッパに旅行に行った話をしていました。「イタリアでは習得したイタリア語を駆使してきた」、とか、「チェコでは 90 円でビールが飲めた」、とか話していました。行動力あふれる学生さんです。



アジの南蛮漬けと肉じゃが(A定食)

[12:30]

12:30 ごろに学食を後にして合格発表が行われている掲示板に向かいます。合格者と一緒に喜びを分かち合おうとするも、なかなか合格者に会うことができません。そんなときに携帯にメールがきます。北林先生からでした。そう、北林先生や網干先生などは京大の合格発表の場に行っているのです。京大の時計台前には合格者が訪れて、みんなで健闘をたたえているようでした。そうなると焦ってきます。わざわざ東大まで来たのに誰にも会えないなんて。そんなときに教え子を発見！しかも、アメフトの人に囲まれて、楽しそうな笑顔ではないですか！きっと合格に違いないと思い、人混みの中かき分けて進んでいきました。そして後ろから肩をたたくと、「あー南先生、僕、合格しましたよ！」とおっしゃるのではないですか！いやー感動ですね。人の喜びの瞬間に立ち会えることこそ、この仕事をしていることのいいところだと私は思います。「他の論述地理組の子達はどこにいるの？」と聞くと、「きっと安田講堂前とかに終結してるんじゃないですかね」と言ってくれたので、この教え子と安田講堂を目指します。掲示板の前を通ると時間をロスするので、掲示板の裏を通り抜けます。意外に盲点なルートなので知っておいても損ではないですよ。すぐに通り抜けることができますからね。安田講堂前に行くと、確かに知っている生徒が何人かいました。みんなと喜びを分かち合っていると、後ろからも「南先生！」と声をかけられます。「私3回も胴上げされてしまいました。しかもお母さんも胴上げされました」と嬉しい発言です。さらに気づくと、去年の合格者のT君やY君まで後輩のために来ていました。この子達は松下先生の教え子でもあったので、松下先生との再会を喜んでいました。やっぱり、何年間もひたむきに努力をしてきて、それが合格に結び付くなんて素敵なことですね。みんないい笑顔をしていました。また来年も来たいと思います。残念ながら合格するという思いを遂げられなかった教え子もいましたが、後期に望みをつないでもらいたいと思います。諦めなければ合格を手に入れることはできるはずですよ。



合格発表の掲示板前ではすごい人混みになります



当日は応援団や吹奏楽部の方がものすごくがんばってくれています